

HIを支える白衣の力 第13回 東京慈恵会医科大学附属病院

HI (Hospital Identity) は、病院の文化や特性・独自性を高めるうえで重要な、ブランディング戦略です。その HI を高めるために白衣がどのような力を発揮するか。この連載では、デザイン性だけではない白衣へのこだわりをお伝えしていきます。



触れた部分が
冷たく感じる「接触冷感」の
素材により、
スタッフの体感温度が
大幅に下がった

採用商品：RF-5502、AY-4213

スタッフ1人ひとりの快適さが病院全体のメリットに 「接触冷感」素材が実現した、現場と経営双方の改善

室温が高くなりがちな現場に「接触冷感」素材を用いたユニフォームを導入し、
スタッフの働きやすさの向上と同時に病院全体の節電も実現した東京慈恵会医科大学附属病院。
今回は、救急部とICUで新しいユニフォームを採用した同院にて、玉上淳子看護部長にお話をうかがいました。



玉上 淳子
看護部長

導入のきっかけはCOVID-19 最前線で対応するスタッフへの敬意から

当院の救急部と集中治療部 (ICU) では、昨年より「接触冷感」素材を使用したユニフォームを導入しています。

ユニフォーム導入の経緯として、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行がありました。救急部では、長

袖ガウンやN95マスクといった個人防護具 (PPE) をフル装備し、長時間対応していました。またICUでも、ナースはECMO等の対応で患者さんの体位変換を頻回に行っていたほか、機械類が多く稼動しているため、室温が高くなりがちでした。COVID-19対応ではどの医療従事者も何らかのかたちで貢献しましたが、なかでも特に最前線で対応していた救急部・ICUのナースに「何か還元できないか?」という意見が院内で出たことから、「接触冷感」素材のユニフォーム導入に至りました。

暑くなりがちな2部署で「冷感素材」を採用 病院全体の節電にもつながった

救急部やICUは前述のとおり機械類の多さなどから室内の気温が上がりやすい一方、病院全体としては節電をすることも大切です。そのようななかで、特に夏場、節電のために空調の設定温度を上げることは、適切な労働環境の確保との両立が難しい部分もありました。しかし、今回のユニフォームの導入によってスタッフの体感温度が下がったことで、昨年の夏は室温設定を約2度、上げることができました。

冷感のある素材や通気性のよさにより、「汗をかきづらい」「汗をかいても不快にならない」という効果があり、業務のなかでの疲労感の軽減につながっています。

実際に着用して業務にあたっているスタッフからは、上記のとおり汗などが気になりにくいということのほか、伸縮性にすぐれた素材であるため動きやすく、肩が凝ったりしづらいといった評価も得ています。

カラー・デザインの一新により スタッフや部署としての意識も向上

今回は救急部とICU、それぞれの部署で独自のカラーを採用しています。また、救急部は背面、ICUは胸部分にオリジナルのデザインを配し、スタッフの意識や部署としての一体感の向上にもつながっています。

当院ではこれまで、ユニフォームには強い思い入れをもち、自分たちの仕事のありかたをユニフォームで表現してきました。ユニフォームを変えることでスタッフのモチベーション向上につながったという経験もあります。今回のユニフォーム導入も、COVID-19流行期で今までにない状況を経験した現場に対し、ポジティブな貢献ができていたのではないかと思います。

機械類の稼動
なども多い救急部・
ICUで急務だった
暑さ対策に、
ユニフォームが貢献



救急部
ユニフォームには、
背面に
オリジナルのロゴが
デザインされている



人員の移動や
必要な動作も多い
部署とあって、
動きやすい素材も
重要なポイントと
なった



東京慈恵会医科大学附属病院

1882年の開院以降、建学の精神「病気を診ずして病人を診よ」にもとづいた診療を提供。1885年、日本で最初の看護婦教育所を創設し、今日までF.ナイチンゲールの理論にもとづいた看護教育を継承している。全国でも有数の診療実績をもつ大学附属病院として、特定機能病院や救急医療機関など多数の指定・認定を受けている。2020年1月には外来棟がリニューアルされ、広く清潔な空間がCOVID-19流行時の対応に活用されたほか、診療科の壁を超えたゾーニングによる患者の移動負担の軽減や、診療科どうしの連携強化を実現。
〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18
<https://www.hosp.jikei.ac.jp/>

ナガイレーベン株式会社

TEL : 03-5289-7891
E-mail : hp-info@nagaileben.co.jp
ホームページ : <https://www.nagaileben.co.jp>